

Q&A 皆様のご質問にお答えします。

Q1 ウィンチを取り付けるとどんな利点があるの？

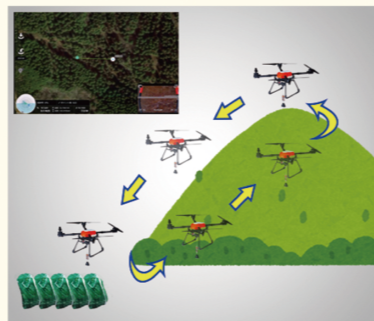
ウィンチを用いることで、山の斜面に近づく必要がなくなることはご説明しましたが、その他にも運搬時にはウィンチで巻き上げた状態で飛行することにより突発的に吹く風にも強く安全かつ省力的に飛行できます。



山林では平地に比べ、強風や突風に会うことはよくあることです。そんなときでも、ウィンチによって苗木が機体近くまで巻き上げられた状態で飛行することによって、安定した飛行を実現することができます。

Q2 自動飛行はどれほど省力化できるの？

1度ポイントを登録することで往復の飛行操作を自動化することができます。目的地点は「地図上から選択」と「緯度経度を入力」の2種類を選択することが可能です。また、ルート設定は記録することもできるので以前飛行させたルートは再設定が不要です。ただし安全対策のため、離着陸とウィンチの操作は手元の送信機で自ら操作する必要がありますが、簡単な操作で全て動作することができます。自動飛行中でも機体周辺の状況を把握できるカメラも装備しているので、運搬物を着地させるポイントも上空から確認できます。



Q3 2オペレーションはどんな場面が得意なの？

自動飛行バージョンでも操縦から目視できる範囲での使用を推奨しています。現場によっては操縦者から目視で確認できない目的地点などもあります。木の陰に入ると機体の状況を確認することができないので危険が生じます。

そんなときに能力を発揮するのが2オペレーションバージョンです。操縦者は離陸地点と目的地点に計2名必要ですが、目的地点を確認できないような場所でも、2人で操作することで全ての作業を目視内で行うことが可能になります。また苗木等を様々な地点に運搬したい場合は、設定を変更することなく目的地点の操縦者で細かく運搬物の割り振りが可能です。



Q4 ドローンを飛行させるために申請などは必要なの？

国内で200g以上の無人航空機（ドローン）を飛行させるには飛行方法により国土交通省に飛行申請を行わなくてはなりません。そこで森飛をご購入いただいたお客様にはマゼックスが以下のサービスをしています。

マゼックスがお客様の代わりに代行申請

より多くの林業従事者様にドローンを導入して頂きやすいように考えて開始したサービスで、業界初の国土交通省への申請や許可書の発行手続き、機体登録や報告作業までもマゼックスが無料で代行申請します。また、お客様の飛行実績の報告時期になるとマゼックスからメールでご案内しますのでスケジュール管理も必要ありません。

※2年目以降の更新申請は国土交通省の飛行ルールに基づき、年次点検を受検して頂く必要があります。機体発注時に飛行される方の情報が必要になります。後日、追加することはできませんので予めご了承ください。

ドローン保険1年目無料付帯(賠償保険)

国土交通省に申請するには賠償保険(対人対物保険)の加入が義務付けられています。そこで、機体をご購入頂いた1年目は無料付帯します。導入時の負担を少しでも減らせるように開始したサービスです。ご加入の作業なども含めてマゼックスが代行します。保険の更新時期になりましたらマゼックスからメールでご案内するので更新忘れも防止します。

※2年目以降はお客様で賠償保険をご加入頂く必要があります。機体ご発注時に加入される方の情報が必要になります。後日、追加することはできませんので予めご了承ください。

Q5 森飛-MORITO-で苗木以外は運べるの？

林業の現場では、苗木以外にも運搬できると業務の大幅な改善につながる荷物はたくさんあり(例 植栽器具や獣害防護資材など)、これらの運搬にも森飛の活躍が期待されます。もちろん重量的に問題が無ければ、運搬することは可能です。しかし、重心の異なる全ての資材に対してフライトテストを行って問題が無いことを実証している状況ではありません。また運搬する物資によっては航空法に定められる「承認」を必要とするものもあります。(例 ガソリン・チェーンオイル等)これらについても必ず事前に確認するようにしてください。

Q6 どれぐらいのバッテリーで運用できるの？

実際の山林で森飛を使用して苗木運搬作業を行い、以下のような結果が出ました。

■バッテリー3本・充電器2個・発電機1個 / ■バッテリーの充電時間は40分間

	(作業時間)											
	10分	20分	30分	40分	50分	60分	70分	80分	90分	100分	110分	120分
バッテリー1	飛行	飛行	充電器1	充電器1	充電器1	充電器1	飛行	飛行	充電器2	充電器2	充電器2	充電器2
バッテリー2			飛行	飛行	充電器2	充電器2	充電器2	充電器2	飛行	飛行	充電器1	充電器1
バッテリー3					飛行	飛行	充電器1	充電器1	充電器1	充電器1	飛行	飛行

上記のように充電を行っている間は他バッテリーで行い、飛行が終わると現場で充電開始することでバッテリー3本で1日中フライトすることが可能です。1回の充電で約2~3往復程度できるので上記表でも多くの苗木を運搬することができます。しかし、上記表は最小限の内容になるためもう1つ予備バッテリーを保持しておく安心です。

Q7 下荷作業(離陸地点から下向き)にも使用できるの？

ただ荷物を上方向(上荷作業)に運搬するだけでなく、下方向(下荷作業)にも運搬用途で使用できます。人力では危険な斜面でも森飛を利用することで安全な作業が実現します。